2024 年 3 月 8 日
株式会社みずほ銀行

Ideation3X Pte. Ltd.への出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、インドにおける統合的廃棄物管理（ISWM：Integrated Solid Waste Management）の領域における循環型の廃棄物処理事業を手がける Ideation3X Pte. Ltd.（本社：シンガポール、以下「i3X」）に対して、このたび、5 百万米ドルの出資（以下「本出資」）を行いました。なお、本出資は、2023 年 2 月に新設した価値共創投資枠（※1）を活用しています。

2017 年に創業された i3X は、インドで社会課題となっているゴミ廃棄場の処理・再生および廃棄物焼却や放置による CO2 排出や環境汚染（メタンガス等の発生や土壌・水質汚染）の解決、ひいては廃棄物の再利用や、廃棄物から精製する代替燃料によるサーキュラーエコノミーの実現を目指すベンチャー企業です。インドではモディ政権が各都市の環境改善を目指す「クリーン・インディア・ミッション」を推進しており、2030 年までにインド全域に 3,000 箇所あまり存在する廃棄場に高く積み上げられたごみの山をなくし、同時に、ごみを原材料等として再利用する循環型廃棄物処理事業モデルの確立を目指しています。i3X は廃棄プラスチックから高品質の代替燃料を製造する技術をはじめ、ISWM 実現に向けた独自のノウハウを有しており、既にインド最大の廃棄場（ニューデリー）を含む 3 つのインドの都市で廃棄物処理を進めており、シリーズ B での資金調達を通じて日本企業との連携を模索してきました。

i3X は、2023 年 1 月に各種プラントの生産設備の制御・運転監視等計測・制御・情報分野におけるリーディングカンパニーである横河電機株式会社（代表取締役社長：奈良 寿、以下「横河電機」）と資本業務提携（※2）を行いました。横河電機はインド市場に適した循環型の ISWM 事業の仕組みづくりに貢献し、横河電機が保有する計測と制御の技術力を十分に活用して、「クリーン・インディア・ミッション」の達成を支援しています。みずほ銀行は、インドにおける社会課題を解決するためのテクノロジーとソリューションを提供することを目指す i3X 並びに横河電機の協業を後押しするべく、価値共創の取り組みの一環として本出資を行い、事業リスクを一部テイクしながら金融・非金融の側面から両社と共に ISWM 実現とインドの社会における日本企業の更なるプレゼンス拡大に向けて挑戦していきます。

〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じて、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

※1　2023 年 2 月 15 日付プレスリリース：「価値共創に向けた取組みの強化について」
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf
※2　2023 年 1 月 31 日付プレスリリース：「インドにおける循環型の廃棄物処理事業を手がける Ideation3X 社と資本業務提携」
https://www.yokogawa.co.jp/news/press-releases/2023/2023-01-31-ja/

【i3X の概要】

会社名：Ideation3X Pte. Ltd.
所在地：403B Fernvale Lane,#03-167, Fern Spring, Singapore 729403
代表者：Dr. Manoj Jain
設　立：2017 年 5 月
事　業：廃棄物からの代替燃料製造、循環型の廃棄物処理事業
U R L：https://ideation3x.com/ （英文）

【本出資の概要】

出資額：5 百万米ドル
使　途：代替燃料製造促進、循環型廃棄物処理事業の拡大

（参考）当行におけるお客さまの事業支援のための投資等の枠組み

	価値共創投資	トランジション投資	SI*領域投資（資本性資金）
投資対象	新規事業会社（社会課題への対応や新規需要の創出、新たな事業モデルの実現等を目指すもの）	環境・社会の持続性向上に資する事業会社（カーボンニュートラルの実現を含む）	資本増強、事業構造転換、企業価値向上等を目指す事業会社（保有する資産（リアルアセット領域）を含む）
事業ステージ	商業化段階	開発・実証段階	－
主な投資形態	エクイティ（普通株式、種類株式）	エクイティ（普通株式、種類株式）	優先株、劣後ローン等のメザニン、及びエクイティ（匿名組合出資等）

*ストラテジック・インベストメント

以　上

ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO